



ICT 海外ボランティア会会報

No. 20 (旧、NTTOBSV 会会報)

2010年9月30日(木)

—JICA シニアボランティア秋募集 特集—

Home page : <http://sv.nttob.org/>

e-mail : sv@info.nttob.org

目次

- ◆[巻頭言 応募を考えている皆様へ](#)
[JICA 青年海外協力隊事務局長 伊藤 隆文氏](#)

- ◆[応募を考えている皆さんへ](#)
[事務局長 加藤 隆氏](#)

- ◆[要請案件 \(ICT 関係者が応募しやすい案件を抜粋\)](#)
[事務局](#)

- ◆[JICA シニア海外ボランティア応募説明会日程 \(関東一円\)](#)
[事務局](#)

- ◆[ICT 海外ボランティア会の現状について](#)
[事務局](#)

- ◆[JICA ボランティアメールマガジンの案内](#)
[事務局](#)

巻頭言 応募を考えている皆様へ

JICA ボランティアへの参加を考えている皆様へ

(JICA ボランティア募集案内資料「JICA ボランティア」から転載)

JICA 青年海外協力隊事務局長 事務局長 伊藤 隆文

今世紀に入り、紛争、貧困、環境破壊、感染症の蔓延などの地球規模の課題はより一層顕在化してきております。これらの課題は、社会経済体制の脆弱な開発途上国で生活する人々

にとっては、特に深刻な問題となっています。更に、最近の世界的な経済危機は開発途上国の人々の生活、生命を圧迫しております。グローバル化が急速に進む現代社会においては、これらの課題は私たち日本人にとっても遠い世界のことではありません。私たちの生活は開発途上国の人々の生活に大きな影響を与えています。世界の問題は決して他人ごとではなく、地球という限られたフィールドで暮らす私たち一人ひとりの行動の結果として生じています。今や私たち一人ひとりがこれを自覚し、行動することが求められる時代が訪れているのではないのでしょうか。

JICA では、開発途上国の抱える様々な課題に、資金協力や技術協力など様々な形で協力しています。その中でも、派遣された国の人々と生活を共にし、開発途上国の草の根の人々のニーズに応えることのできるボランティア事業に対する期待は一層大きくなってきています。

青年海外協力隊が誕生してから40年以上が経ちました。その後、シニアボランティア、日系社会青年ボランティア、日系社会シニア・ボランティアという形でのボランティアも誕生し、これまで約4万人の方がボランティアとして活動してきました。その一人ひとりが現地の人と向き合い、そこに存在する問題の解決に向けて取り組み、成功や失敗を積み重ね、多くの貴重な経験を得てきました。電気やガス、水道も通っていないような地域で地道に粘り強く活動し、一步一步前進していく姿、現地語の飛び交うなか、身振り手振りで必死に伝えようとする姿。このような姿勢は現地の人々に高く評価されています。

彼らは、異なる言語、異なる習慣の中で現地の人々と生活を共にし、相互に信頼し合える関係を育み、共に地域の抱える課題に向き合うことで、日本では決して経験することができない貴重な経験を得て帰ってきます。その経験は彼らを成長させ、その後の人生の糧となるだけではありません。その経験は、少子化、過疎化、外国人労働者の増加に伴う問題等、様々な課題を抱える日本社会にとっても必要な経験となっています。目の前にある課題に向き合い、周りの人々と協力し、豊かな発想力と行動力を持って解決していく力を持つ彼らが、日本社会に活力を与えてくれると信じています。

皆さんの人生の2年間を開発途上国の人々と共に歩んでみませんか。JICA ボランティアは、「世界も、自分も、変えるシゴト」です。皆さんの汗が世界を変え、様々な経験があなた、日本を大きく変えることでしょう。たくさんのご応募をお待ちしております。

(この文の転載は JICA の了解を得ております。)

本応募を考えている皆さんへ

応募を考えている皆さんへ

ICT 海外ボランティア会 加藤 隆

またシニア海外ボランティア募集の時期になりました。幾分不安を感じながら応募を決意し緊張感を覚えた5年前を思い返し、懐かしくもあり、思い切って応募してよかったとしみじみと感じています。

二年の任期を終えて帰国し、NPOである「SV経験を活かす会」に入会させていただき、その後この会経由で JICA 主催のシニア海外ボランティア応募説明会のパネリストやよろず相談員を務めさせていただいています。その折種々の質問をいただきましたので、その経験から応募を考えている皆さんへ一言アドバイスをさせていただきます。

1. 情報通信技術（ICT）関連要請案件の傾向

従来の電気通信のみに関する案件は少なくなっています。その主たる理由は、いまや電気通信の時代ではなく急速に進展している情報通信の時代です。またどの国でも事業運営体が政府機関や公社から民間会社になって来ていることです。SVは政府機関への派遣が原則です。その代わりコンピュータなど情報通信関連の案件が多くなっています。

また、ICTは製造、金融、教育、医療、農業等多くの産業の基（礎）になっています。そのためICTが活用された案件は裾が広がっています。更にJICAの方針の一つでもある人材育成に関する案件が増えています。

2. 応募を検討すべき案件

以上の傾向を勘案し、ご自分が従事された業務を通して得られた技術やノウハウを基に、幾分なりとも他の分野に挑戦する心算が必要かと思います。それはご自分の再発見にもつながります。私の場合もそうでした。技術開発や海外業務が私の経験範囲でしたが、大学での講師という案件への挑戦でした。それで若干の不安はありましたが、私にその適格性があるか否かはJICAの専門的な観点から、客観的に判断していただければよいと考えて応募しました。結果的に企業経験者の講義は、ある意味で学生により刺激になった効果もあったと振り返っております。

思い切って、他の分野へトライすることも一案です。実際放送技術に挑戦されて立派な成果を挙げられている方もおります。基本的には放送技術もICTです。また品質管理や経営管理に挑戦してみませんか。長くビジネスに従事しておりますと、自分では意識しなくても、自然にこの分野の技術やノウハウが身についております。それを体系的に整理すればよいかと思います。また語学に自信のある方は「渉外促進」をお奨めします。これは他のSVの支援・調整、及び通訳業務です。またどうしてもご自分に当てはまる案件のない場合には、「有資格」と云う応募の仕方もあります。いずれの場合でも若干のチャレンジは必要で、これがまた楽しみでもあります。

一度JICAの募集説明会に足を運ばれることをお奨めします。体系的な知識を知ることが出来ると共に、個別に質問できる「よろず相談」のコーナーもあります。

また JICA ボランティア メール マガジンの閲覧をお奨めします。ここでは多くの新しく、詳細な情報を入手できます。<http://www.jica.go.jp/volunteer/index.hotmail>

要請案件（抜粋）

要請案件（ICT関係者が応募しやすい案件を抜粋）

（1）電子・電気通信・電気 等

指導科目	国名	要請内容
電子工学	メキシコ	電子制御・無線通信等の製品開発に協力
電子通信	ブータン	工科大学で講義
通信網整備	パナマ	通信機材・NW・通信システムの保守支援
電気・電子制御機器管理	ボリビア	職業訓練校で指導に関するアドバイス
マイクロエレクトロニクス技術教育	シリア	大学で SCADA, PLC 応用技術の指導
太陽光発電	チュニジア	職業訓練校でカリキュラム作成、教官指導
電子工学	ガーナ	技術大学でコンピュータハードウェア・電子回路指導
電気機械	ブータン	工科大学で講義
訓練カリキュラム	ボリビア	電気・電子機器・自動制御等のカリキュラム見直し
職業訓練（電気）	ボリビア	職業訓練校で講義・実習指導
電気工事	ザンビア	職業訓練校で講義・実習指導
太陽光	ネパール	技術指導と政策へのアドバイス
古文書修理・保存	パラグアイ	外交文書の修復・保存・展示に係わる助言

（2）経営管理・品質管理 等

指導科目	国名	要請内容
工場管理（エンジニア）	シリア	民間経営者を対象にした経営改善指導
総合品質管理	シリア	民間経営者を対象にした品質管理改善指導
品質管理	モンゴル	品質管理・QC・人材育成手法等の指導
事業管理情報システム	ネパール	データベースを作成し、経営統計の作成・分析
生産現場改善	メキシコ	日系企業に対し、生産性・品質向上に協力
生産管理技術	アルゼンチン	中小企業指導・ワークショップ等を通して人材育成
TQM/JIT(改善、5S、7W)	チリ	生産工程・運営・管理改善を目指し支援
企業経営	ウズベキスタン	経済大学で顧客満足等経営手法の講義
コミュニティー開発	ボリビア	パン・民芸品製造・販売の品質向上アドバイス
品質管理(SQC)	メキシコ	中小企業の生産性・品質向上に協力
品質管理・競争力強化	アルゼンチン	セミナー・OJT を通じて人材育成
生産管理	コロンビア	企業の工程管理モデルの普及・定着を支援
品質管理	パラグアイ	育成講師に対し、5S・カイゼン等技術的アドバイス
品質管理	シリア	大学で品質管理の講義、産業関係者の研修企画

(3) 他

指導科目	国名	要請内容
オートメーション	ボリビア	職業訓練校で SCADA の授業
科学	南アフリカ	科学館運営の助言
渉外促進(一村一品)	コスタリカ	(英語・西語)他ボランティアの通訳・翻訳支援
渉外促進	メキシコ	(西語)グループコーディネーター、業務調整
渉外促進	トルコ	(英語)他ボランティアの業務調整・通訳・翻訳支援
渉外促進	トルコ	(英語)他ボランティアの業務調整・通訳・翻訳支援

秋募集説明会日程（関東一円）

JICA シニア海外ボランティア秋募集説明会 開催日程（関東一円）

その他の地域の方は、JICA の HP を閲覧されるか、または最寄の JICA 事務所にお問い合わせください。

	DATE (日にち)	DAY (曜日)	OPEN (開場)	START (開会)	FINISH (閉会)	PLACE(会場名)
1	10月1日	金	15:00	15:30	17:30	大宮ソニックシティホール 4階 国際会議室
2	10月1日	金	18:30	19:00	21:00	グリーンホール相模大野 多目的ホール
3	10月2日	土	10:00	10:30	12:30	JICA 地球ひろば 3階 講堂
4	10月3日	日	10:00	10:30	12:30	山梨県立国際交流センター (パスポートセンター)
5	10月5日	火	18:30	19:00	21:00	東急スクエアビル 12階 八王子市学園都市センター
6	10月6日	水	15:00	15:30	17:30	秋葉原ダイビル 2階 秋葉原コンベンションホール
7	10月8日	金	15:00	15:30	17:30	フェイスビル 6階 船橋市民文化創造館(きららホール)
8	10月11日	月祝	10:00	10:30	12:30	浦和コルソ 7階 コルソホール
9	10月14日	木	15:00	15:30	17:30	アミュゼ柏
10	10月15日	金	18:00	18:30	20:30	新宿明治安田生命ホール 地下 1階

11	10月16日	土	10:00	10:30	12:30	群馬会館(県庁前) 1階 広間
12	10月17日	日	10:00	10:30	12:30	ながおか市民センター 2階 201会議室
13	10月19日	火	18:30	19:00	21:00	武蔵野公会堂 ホール
14	10月19日	火	18:00	18:30	20:30	かながわ県民センター 2階 ホール
15	10月23日	土	10:00	10:30	12:30	とちぎ国際交流センター 2階 多目的ホール
16	10月24日	日	10:00	10:30	12:30	ブラーカ1 2階 新潟大学 駅 南 キャンパス「ときめいと」 講義室 A
17	10月24日	日	10:00	10:30	12:30	JICA横浜
18	10月30日	土	10:00	10:30	12:30	JICA 地球ひろば 3階 講堂

尚、10月6日(水)秋葉原、及び24日(日)JICA横浜での説明会では、当会幹事加藤隆がSV経験者としてパネリストを務めます。

ICT海外ボランティア会の現状

ICT海外ボランティア会の現状 (2010年9月25日)

「NTT OB SV会」として2008年8月に発足した当会は、今般「ICT海外ボランティア会」と名称を変更し、更なる活動の充実と規模の拡大を図ろうとしております。

活動の趣旨は、わが国 ICT 産業に携った、あるいは携っておられる方々に、情報を提供してボランティア活動への参加をお奨めし、活動中のボランティアに支援をすることです。

現在の構成は次の通りです。

大局的な立場からアドバイスをいただく“特別顧問”1名、“顧問”6名、

SVの経験者及び活躍中の“幹事”12名、

SVに関心を持つ将来のSV候補者“会員”63名、

本会活動に賛同し、支援をいただく、いわゆる“応援グループ”174名、

で、これらの方々に会報を配信させていただいております。

また会報は今号がNo.20で、ホームページの延べ閲覧者は5250名です。

JICA ボランティアメールマガジンの案内

先にも述べましたが、JICA ボランティア メール マガジンの閲覧をお奨めします。ここでは多くの新しく、詳細な情報を入手できます。

(<http://www.jica.go.jp/volunteer/index.hotmail>)

会報お読みの方々へのお願い

本会の拡充と共に、会報の充実も計ろうといたしております。
それで会報をお読みになった皆様のご感想、ご意見、ご要望は、会報作成のみならず、
本会運営に当たっても大きな方向付けに役立ちます。どうぞ遠慮なくお送りいただきま
すようお願い申し上げます。

送付先は、編集部 加藤隆(kato2415@jasmine.ocn.ne.jp),または
村上勝臣(murakami.katsumi@mb.mni.ne.jp)までお寄せ下さい。

編集後記

・今会報 No. 20 は、JICA シニアボランティア秋募集特集としました。

巻頭言には JICA 青年海外協力隊事務局事務局長伊藤隆文氏の言葉を、JICA ボランティア
募集案内資料「JICA ボランティア」から、JICA の許可をいただき転載させていただきました。

加えて応募を考えておられる方へのアドバイス、応募案件の抜粋、募集説明会日程を掲載
しました。皆様の参考になれば幸いです。気軽に募集説明会に出かけられたら如何でしょ
うか。(加藤 隆)

総編集長 : ICT 海外ボランティア会 事務局長 加藤隆

編集長 : ICT 海外ボランティア会 村上勝臣

発行 : ICT 海外ボランティア会

メール : sv@info.nttob.org